

①電気装置（バッテリー電源ケーブル）、②窓ふき器（車両マスター制御ユニット） ③駆動力取出し装置（PTOリバースユニット）のリコールについて

（届出日：令和3年3月31日 開始日：令和3年4月1日）

リコール番号4923

令和3年3月31日、UDトラックス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。
対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

大型トラックにおいて、

- ① バッテリー固定プレートの形状が不適切なため、バッテリー端子に電源ケーブルを取り付けた際、電源ケーブルが固定プレートの端部と干渉するものがあります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、電源ケーブルの被覆が損傷して短絡し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがあります。
- ② ワイパーの作動を制御する車両マスター制御ユニットのプログラムが不適切なため、ワイパー作動中に特定の操作を行うと、ワイパーの制御がフェイルセーフになることがあります。そのため、ワイパーが一定時間停止し、必要な視野を確保することができなくなるおそれがあります。
- ③ 駆動力取出し装置（PTO）の組付作業が不適切なため、シャフト部の表面に防錆対策用テープの接着成分が残ったまま、ベルト駆動用プーリーが組付けられたものがあります。そのため、ベルト駆動用プーリーの取付ナットの締付け力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、取付ナットが緩み異音が発生し、最悪の場合、駆動用プーリーが脱落して、他の交通の妨げになるおそれがあります。

2. 改善の内容

- ① 全車両、バッテリー固定用プレートの端部に保護材を取付けます。併せて、電源ケーブルを点検し、損傷がある場合は保護材の取付けまたは新品に交換します。
- ② 全車両、車両マスター制御ユニットのプログラムを書き換えます。
- ③ 全車両、ベルト駆動用プーリー締結部の点検・清掃を行ない、取付ナットに緩みがある場合はPTOリバースユニット一式を新品に交換します。

3. 対象車両

- UDトラックス株式会社が製作している大型トラックが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
UD トラックス	2PG-CD5CA	「クオン」	JNCMB02C0HU020539 ~ JNCMB02C0JU027951 平成29年5月18日 ~ 平成29年10月27日	9	① 7台 ② 1台 ③ 1台
	2PG-CD5CL		JNCMB02C4HU026344 平成29年9月5日	1	① 1台
	2PG-CG5CA		JNCMB02G8JU026923 ~ JNCMB02G2JU027324 平成29年9月21日 ~ 平成29年10月11日	4	① 3台 ② 1台
	2PG-CW5AL		JNCMB02D7JU027714 平成29年10月17日	1	① 1台
	(計 4 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成29年5月18日 ~ 平成29年10月27日	(計 15 台)	① 12台 ② 2台 ③ 1台

本届出は、平成29年12月14日付け届出番号「4157 ①②③」にてリコール届出を行ったものであるが、対象範囲を追加し届出するものである。

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りのUDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

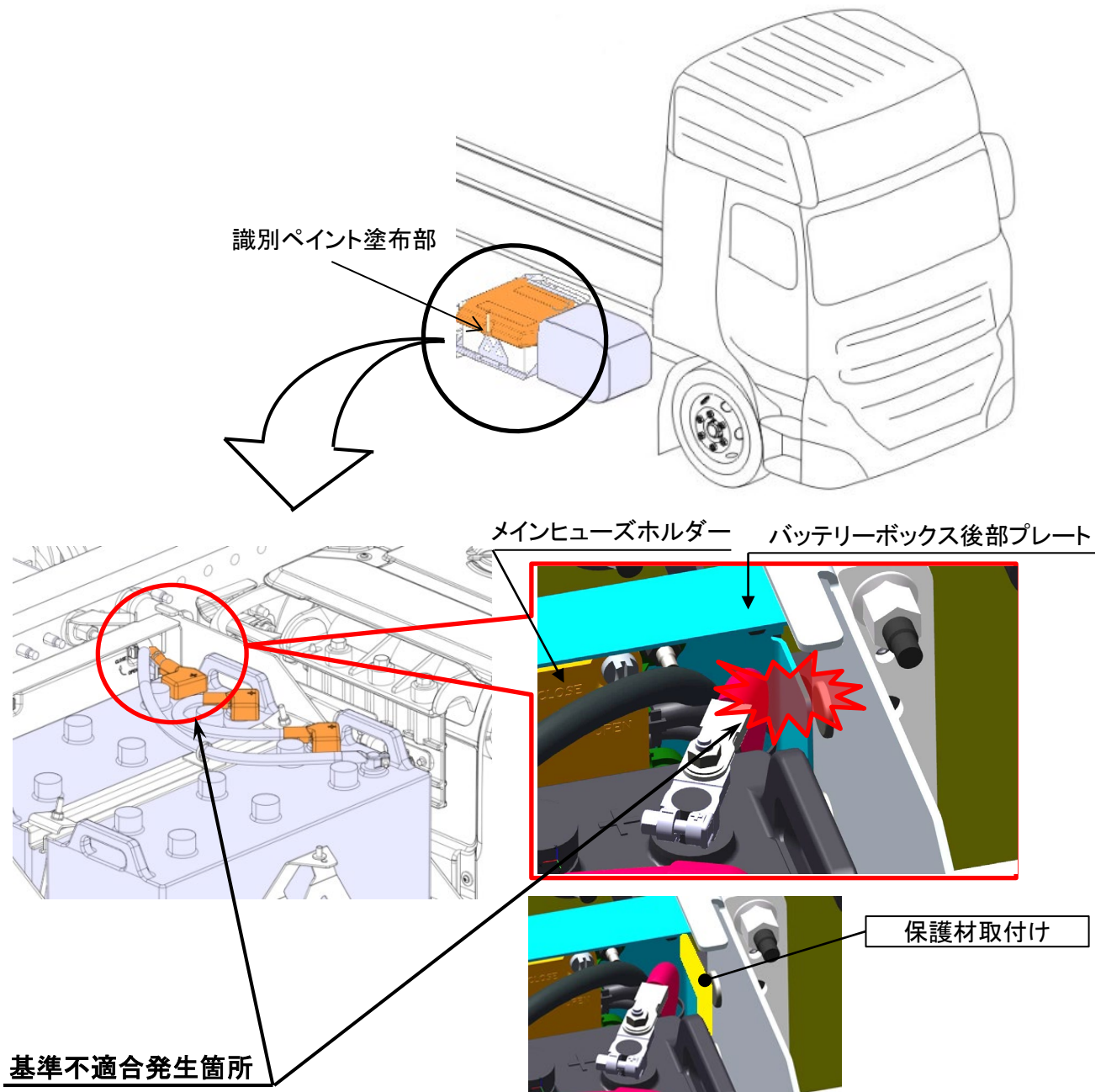
UDトラックス株式会社 お客様相談室

〒362-8523 埼玉県上尾市大字老丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00
但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図①



大型トラックにおいて、バッテリー固定プレートの形状が不適切なため、バッテリー端子に電源ケーブルを取り付けた際、電源ケーブルが固定プレートの端部と干渉するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、電源ケーブルの被覆が損傷して短絡し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。

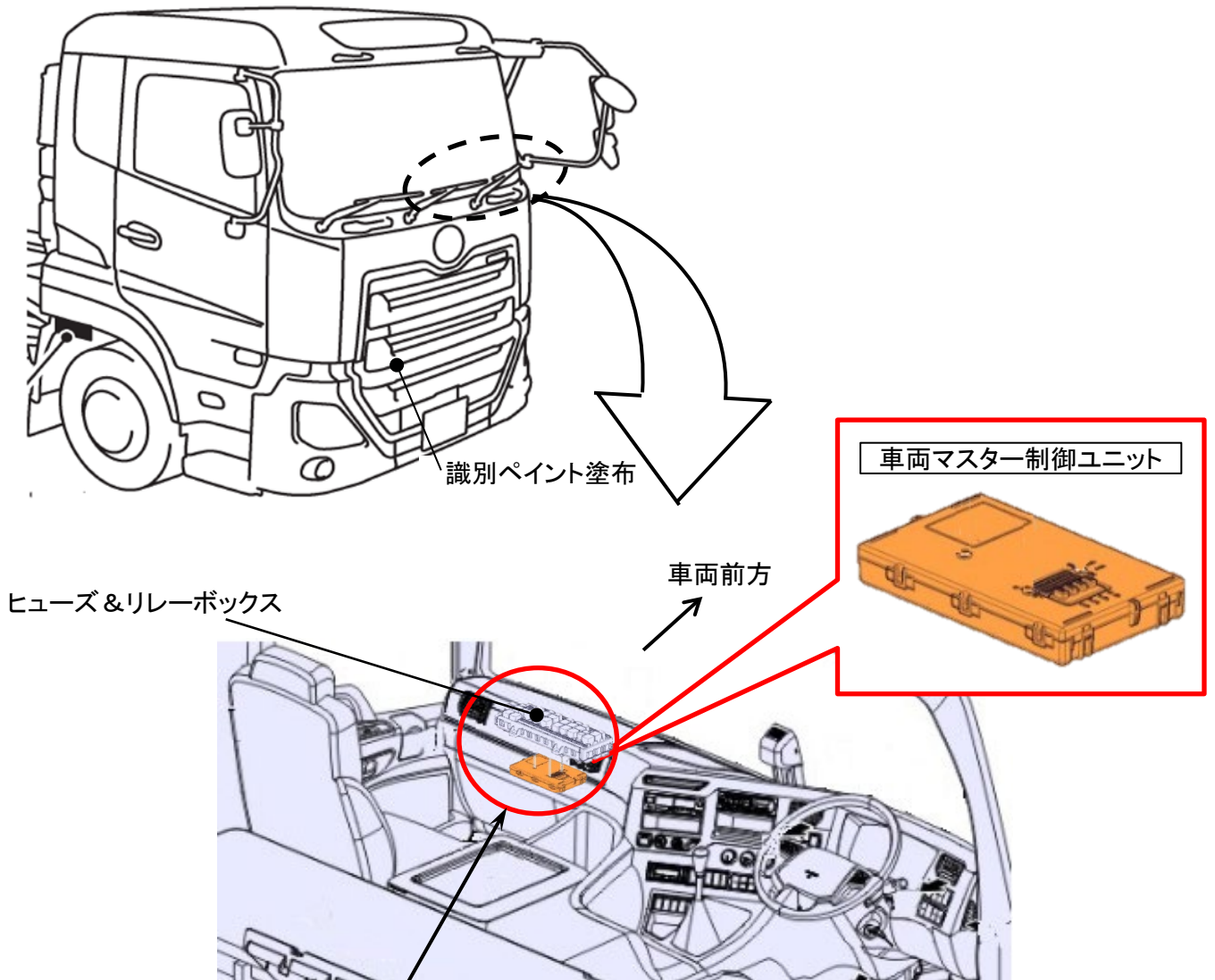
改善措置の内容

全車両、バッテリー固定用プレートの端部に保護材を取付ける。併せて、電源ケーブルを点検し、損傷がある場合は保護材の取付けまたは新品に交換する。

注： は、措置する箇所(取付け部品)を示す。

識別: 作業完了車には、バッテリーカバー固定ナットの表面に赤色ペイント塗布する。

改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、ワイパーの作動を制御する車両マスター制御ユニットのプログラムが不適切なため、ワイパー作動中に特定の操作を行うと、ワイパーの制御がフェイルセーフになることがある。そのため、ワイパーが一定時間停止し、必要な視野を確保することができなくなるおそれがある。

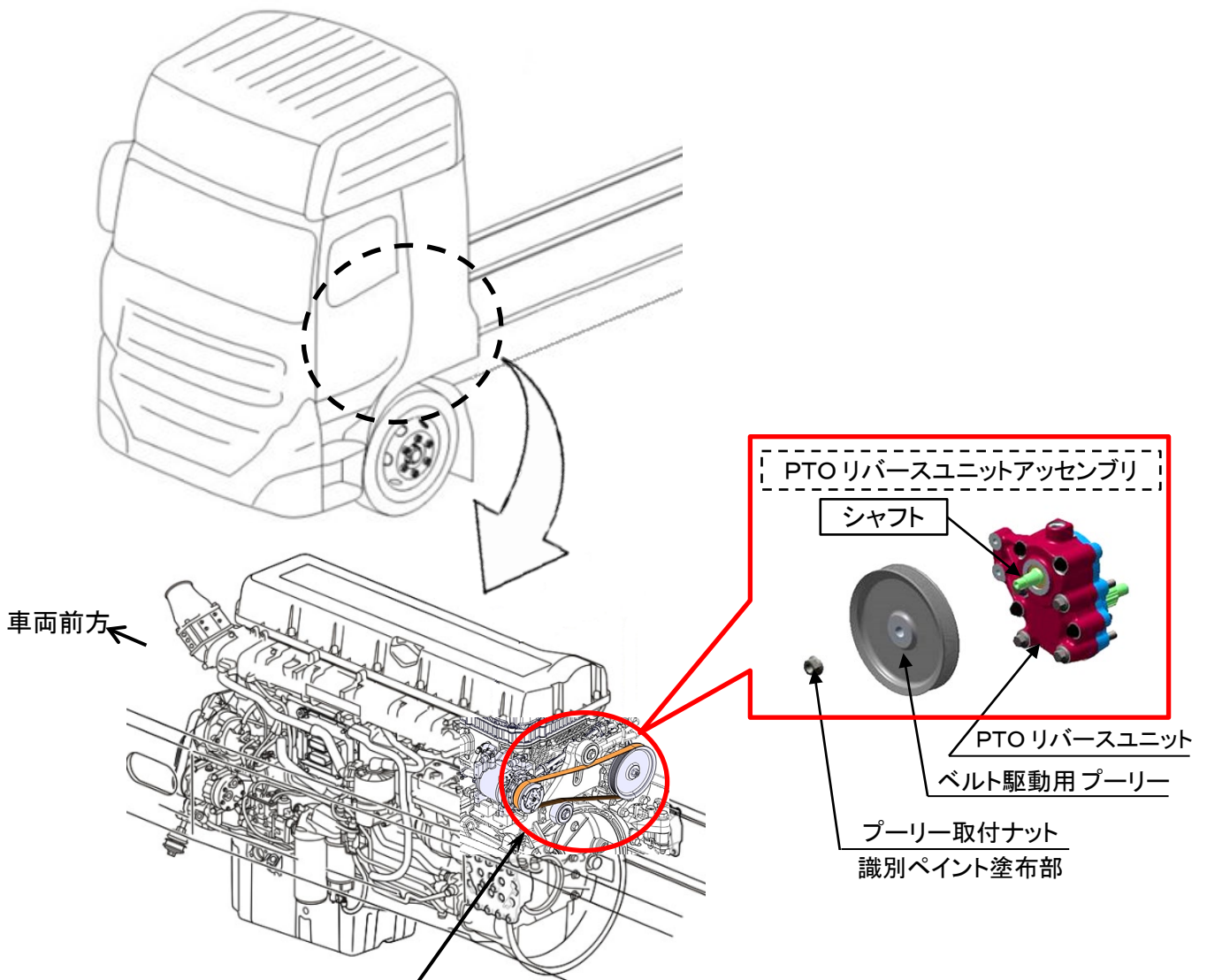
改善措置の内容

全車両、車両マスター制御ユニットのプログラムを書き換える。

注： は、措置する部品を示す。

識別: 作業完了車には、運転席側 キャブマウント部に赤色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図③



基準不適合発生箇所

大型トラックにおいて、駆動力取出し装置（PTO）の組付作業が不適切なため、シャフト部の表面に防錆対策用テープの接着成分が残ったまま、ベルト駆動用プーリーが組付けられたものがある。そのため、ベルト駆動用プーリーの取付ナットの締付け力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、取付ナットが緩み異音が発生し、最悪の場合、駆動用プーリーが脱落して、他の交通の妨げになるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ベルト駆動用プーリー締結部の点検・清掃を行ない、取付ナットに緩みがある場合はPTOリバースユニット一式を新品に交換する。

なお、交換部品の準備に時間を要するため、準備でき次第、改めて部品を交換する。

注： は、措置する部品を示す。 は必要に応じ交換する部品を示す。
 識別：作業完了車には、PTOプーリー取付ナット部に赤色ペイントを塗布する。